

3W LED ハイブリッド ソーラーライト 取扱説明書

この度は、**RITEX 3W LED ハイブリッド ソーラーライト** をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

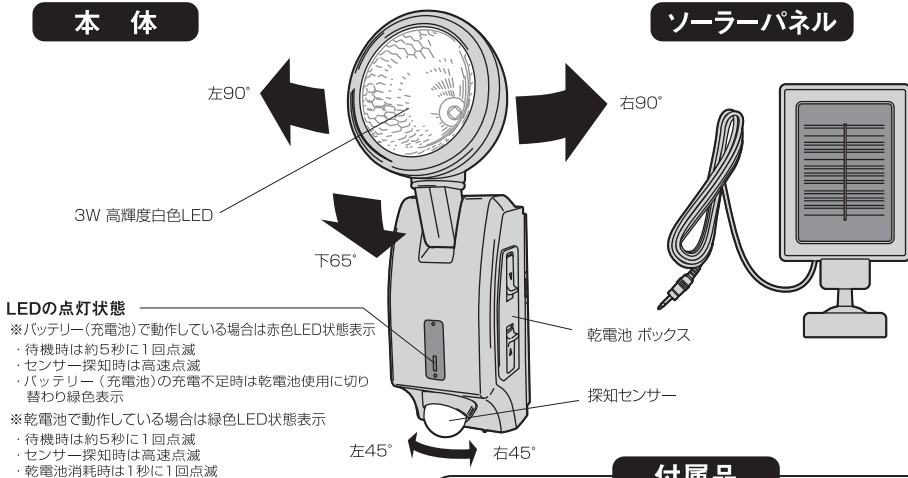
注意

気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間を置いて再度ご確認ください。

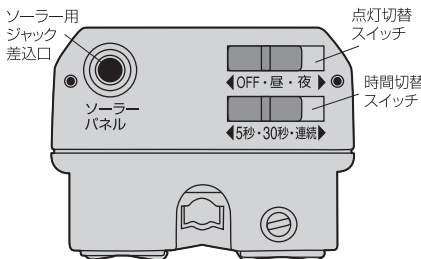
1. 部位説明

本体

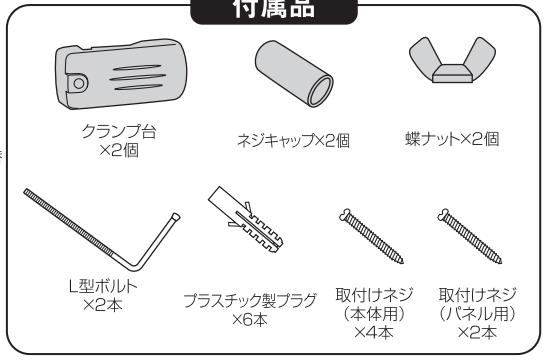
ソーラーパネル



底面から見た調節操作部



付属品



2. 仕様

ライト本体		
ライト	種類	3W 高輝度白色LED 全光束 約200ルーメン 設計寿命約4万時間
電源	バッテリー(充電電池)	ニッケル水素電池 3.6V1200mAh
	乾電池	単三アルカリ乾電池×3本(別売)
センサー	探知方式	焦電型赤外線センサー
	探知範囲	水平 約140°・最長約8m
点灯切替スイッチ		OFF/昼/夜
時間切替スイッチ		約5秒/約30秒/連続点灯
本体サイズ		約幅78mm×奥97mm×高215mm(クランプ除く)
重量		約360g(クランプ・乾電池除く)
クランプ取付けサイズ		・厚み/最小約15mm~最大約100mm ・パイプ径/最小約30mm~最大約85mm
バッテリー(充電電池) 使用時 1日平均点灯回数 ※点灯時間を30秒にした場合		・春夏秋 平均約30回 ※充電可能な平均日照時間3時間(東京) ・冬 平均約20回 ※充電可能な平均日照時間2時間(東京) (満充電時約150回)
乾電池 使用時点灯回数 ※点灯時間を30秒にした場合		・約200回(単三アルカリ乾電池3本(別売)使用時) (※電池の性能により異なります。)
連続点灯可能時間		・バッテリー(充電電池) 満充電時 約75分 ・乾電池 約100分(※電池の性能により異なります。)
設置場所		屋内・屋外用(防雨タイプ IP-44)

ソーラーパネル	
種類	結晶太陽電池
出力	5.5V 0.44W
サイズ(クランプ除く)	約幅98mm×奥50mm ×高196mm
コード長さ	約5m
クランプ取付けサイズ	・厚み/ 最小約15mm~最大約110mm ・パイプ径/ 最小約30mm~最大約75mm
重量	約230g(クランプ除く)
設置場所	屋外用(防雨タイプ IP-44)

3. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)



警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

警告

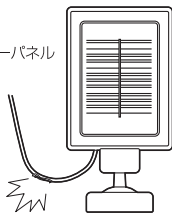
ソーラーパネル、バッテリーについて

ソーラーパネルのケーブルを破損させない



禁止

ソーラーパネル



ソーラーパネルのケーブルを破損する、無理に曲げる、加工するなどしない。
また、重いものを乗せる、挟み込むなどしない。
火災、感電、故障の原因になります。

専用のソーラーパネルを使用する



火災、感電、故障の原因になります。



ソーラーパネルのケーブルが傷んだ時(芯線の露出、断線など)は、使用しないでください



禁止

そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

ソーラーパネルの接続プラグのほこり等を取る



時々点検してください。
ソーラーパネルの接続プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



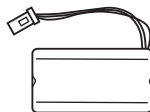
絶縁不良やショートで火災、感電の原因になります。

バッテリーより異臭、発熱、変形に気づいた時は



ソーラーパネルの差込ジャックを本体から取外し、電源をOFFにして使用を中止し、弊社までご相談ください。

バッテリーを交換の時は



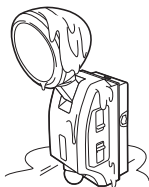
濡れた手や、本体が濡れた状態での、バッテリー交換はしないでください。交換の際は、必ずスイッチをOFFにしソーラーパネルを本体から外した状態でお取替えてください。感電、故障の原因になります。

ご使用や設置について

本体を大量の水がかかる場所に設置しない



禁止



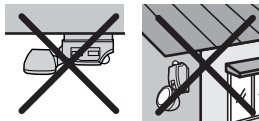
通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありません。※防雨構造はIP-44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。

故障の原因になります。

屋内・屋外に関係なく斜め向き、下向き、逆さまに取り付けない



禁止



故障の原因になります。

家電製品の近くで使わない



禁止



テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。

故障、誤動作の原因になります。

付属品を使用する



必ず付属品で取付け、配線をおこなってください。

落下、故障の原因になります。

引火性溶剤は使わない



禁止

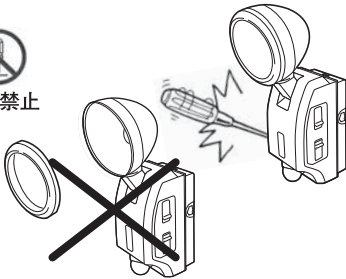


清掃のときは、水で濡らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。火災、感電の原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止



修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

火災、感電、故障の原因になります。

燃えやすい物の近くに取付けない



禁止



布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けないでください。昼でも本体に物(布団や布等)を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。火災の原因になります。

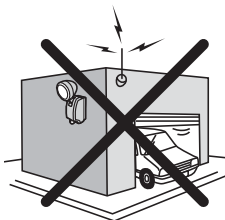
⚠ 注意

ご使用や設置について

電波を出す器具の近くに取付けない



禁止

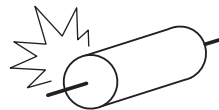


故障、誤動作の原因になります。

モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない



禁止



故障の原因になります。

※本機は探知範囲内に侵入する物(人、車等)に対して、注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。

※製品改良のため、仕様及び外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

4. センサーの探知範囲

■センサーは、最長約8m×140°の範囲で動く人や車を探知します。

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

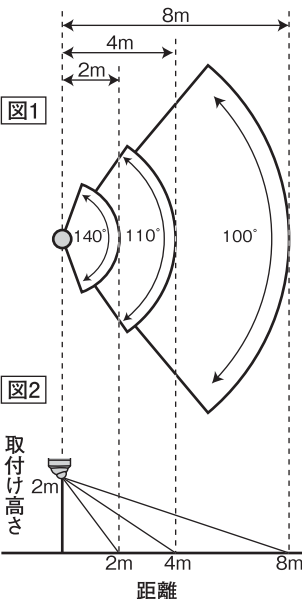
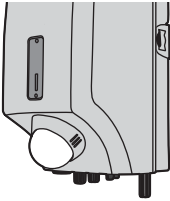
※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

- ・取付け高さが2mの場合の探知範囲です。
- ・取付け高さは最高3mまでです。
- ・取付け高さを1mにすると探知範囲は、図の半分になります。

参考

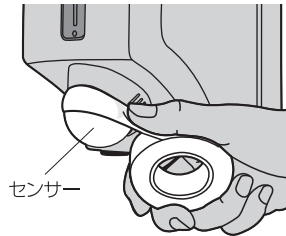
人や車の往来の多い場所の設置をさけ、また探知範囲を出来るだけ絞るように、設置高さを低く、探知距離を短く、探知角度を狭く調整すると、電池の消耗を少なくすることが出来ます。

探知範囲 最長約8m×140°



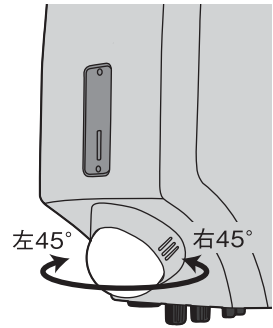
探知範囲を狭くする

- ・探知範囲を狭める場合はセンサーレンズに透明か白色のビニールテープを添貼付します。(セロハンテープは薄いので2重に貼ってください)
 - ・上面に貼付すると探知距離が短くなります。
 - ・側面に貼付すると探知角度が狭くなります。
- ※センサーレンズ内に明かりセンサーも内蔵されていますので色の濃いビニールテープを貼ると夕刻や昼間でも点灯が開始する場合があります。



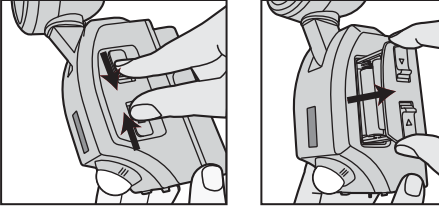
センサー左右角度調整

探知したい方向にセンサーを向けます。

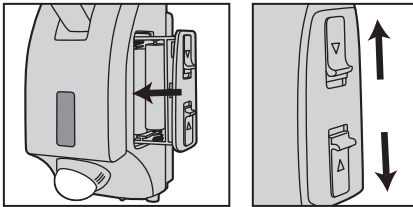
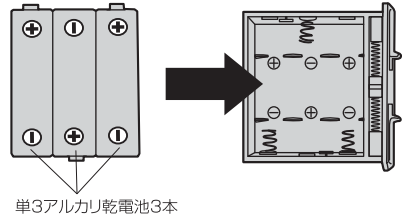


5. 乾電池の入れ方

- ① 点灯切替スイッチをOFFにした後、本体側面にある電池ボックスのレバー2個を内側にスライドさせ電池ボックスを取り外します。
※乾電池を入れなくてもバッテリー(充電電池)で作動します。必要に応じて乾電池を入れてください。



- ② 単3アルカリ乾電池3本を入れます。
※プラスマイナスの向きを間違わないように注意



- ③ 電池ボックスを本体に差し込みます。
本体奥までしっかりと押し込みレバー2個が外側に開いているか確認してください。

注意 本体正面の状態表示LEDが、電池寿命の緑色表示1秒に1回点滅した場合、速やかに電池交換して下さい。放置しておくとう電池の液漏れ原因になります。

6. ご使用前にご確認ください

ご使用前に必ず下記の事項をご確認の上、安全にご使用ください。
指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

確認
チェック

ご購入後は充電が不十分です。晴天の日に約2日間充電した後、使用してください。

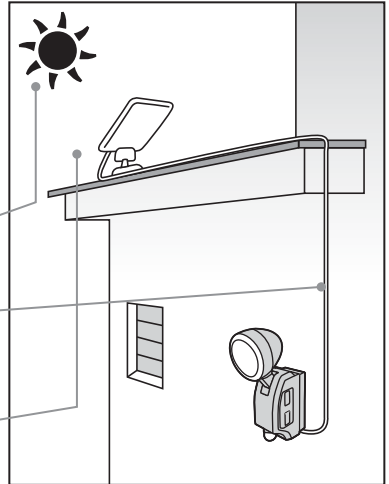
- 数日間天候の悪い日が続くと充電が不十分になります。
※電源スイッチをOFFにして充電してください。
また、ソーラーパネルの差し込みジャックが本体にしっかり差込まれているか確認してください。
※バッテリー(充電電池)が完全放電し電池容量がない場合、乾電池を入れても点灯しない場合があります。

確認
チェック

ソーラーパネルのコードは5mです
本体との距離を確認の上、取付けてください。

確認
チェック

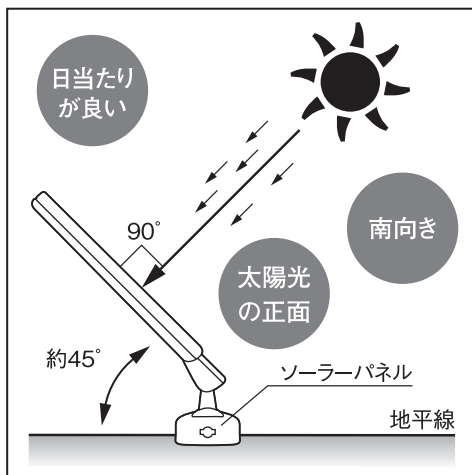
ソーラーパネルを正しく取付けてください
※「ソーラーパネルの取付け場所」参照



取付けは確実に!

本体・ソーラーパネルは、安全な場所に確実に取付けてください。
また、事故を防ぐ為、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。
※「7.ソーラーパネルの取付け方」、「8.ライト本体の取付け方」参照

ソーラーパネルの取付け場所



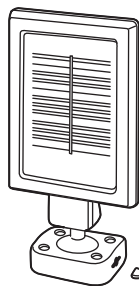
※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

- 1 直射日光の当たる南向き
- 2 地平線の上方向約45°
- 3 日照時間の長い場所
- 4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所
- 5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節

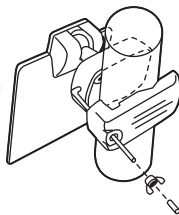
7. ソーラーパネルの取付け方

柱やパイプにクランプで取付ける場合

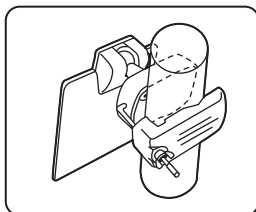
注意 クランプ台は、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。



L型ボルトをクランプ台に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップをつけてください。



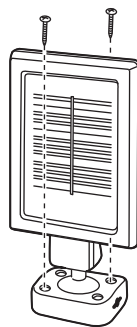
L型ボルトをAの向きに奥まで差込み、Bの向きに90°倒します。



※柱・パイプをクランプの中央に挟みます。

壁に直接取付ける場合

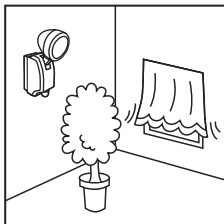
1. 木製の壁等に取付ける場合、付属のパネル用取付けネジ2本で固定してください。
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「8. ライト本体の取付け方」と同様です。



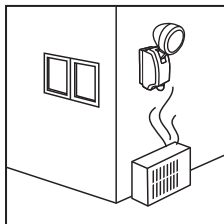
8. ライト本体の取付け方

ライト本体の取付け注意!

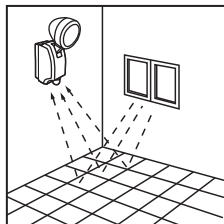
センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、誤動作や作動しないときがあります。



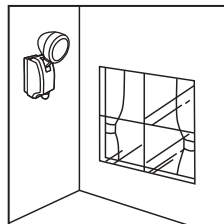
風などでゆれる植物やカーテン等の近く



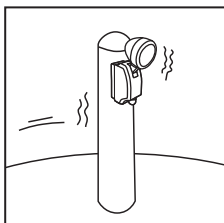
エアコン等の送風を受ける場所



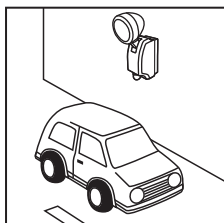
大理石の床や壁等の光の反射を強く受ける場所



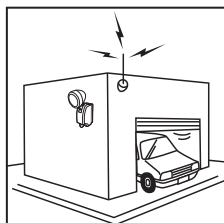
ガラスや壁ごしの場所



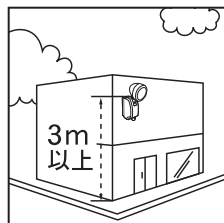
強い振動を受ける場所



車の通る道路に面した場所

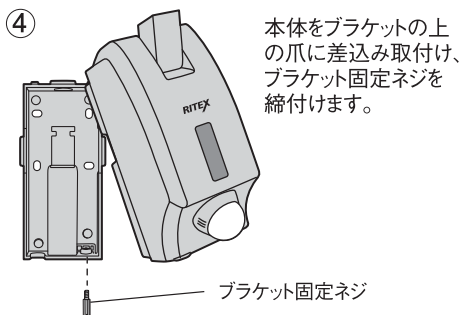
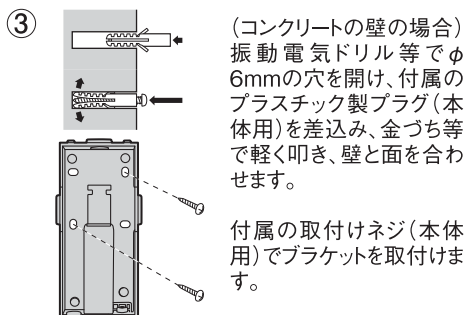
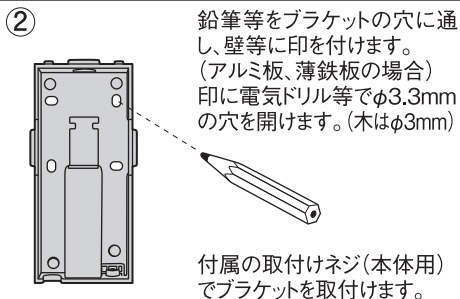
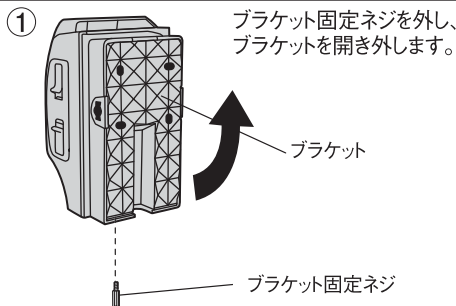


電波の強い場所



取付け高さが3m以上の場所

ブラケットで壁に直接の取付け方



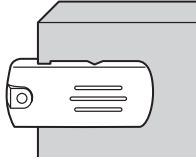
クランプで挟む取付け方



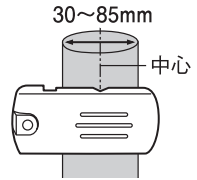
注意

クランプでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。

角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。

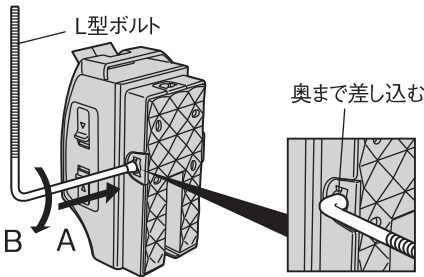


丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。



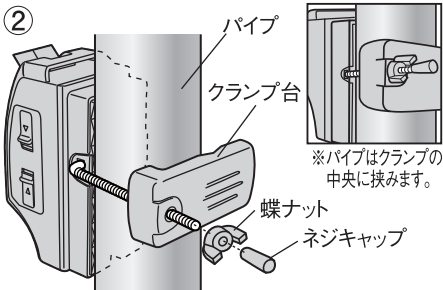
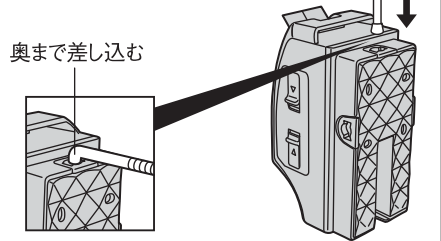
縦向き(縦向き)の柱、パイプの場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。

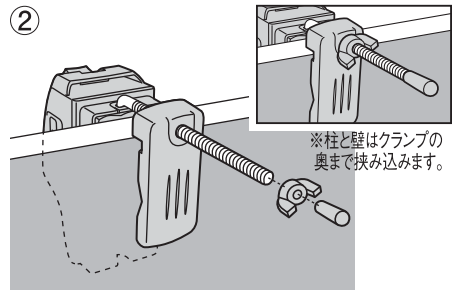


横向き(横向き)の柱、パイプの場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。



L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。



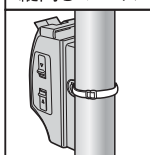
L型ボルトのネジキャップを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

市販のステンレスバンドで取付け方

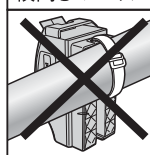
市販のステンレスバンド(幅10mm)を、ブラケットの左右の穴に通して取付けることもできます。

縦向き(縦向き)のパイプには取付けできますが、横向き(横向き)のパイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるため取付けないでください。

縦向き(縦向き)のパイプ

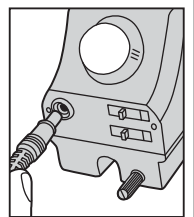


横向き(横向き)のパイプ



ソーラーパネルの差込ジャックの差し方

ソーラーパネルの差込み口に奥までしっかり差し込みます。



9. センサーの動作テスト

購入後は充電不足なので、充電後にセンサー動作テストをしてください。

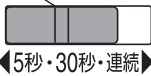


10. センサーをお好みのモードに調節

1. 時間切替スイッチ (点灯時間の調節)

5秒 に調節

時間切替スイッチ



センサー探知

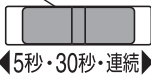
約5秒間
点灯

消灯

※“5秒”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点灯時間が延長されます。

30秒 に調節

時間切替スイッチ



センサー探知

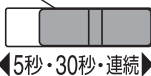
約30秒間
点灯

消灯

※“30秒”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点灯時間が延長されます。

連続 に調節

時間切替スイッチ



連続
点灯

点灯切替スイッチOFF
又は時間切替スイッチ変更
消灯

※点灯切替スイッチ、昼または夜設定時、連続点灯します。
 ※非常時のライトとして使用できます。

2. 点灯切替スイッチ (点灯させる周りの明るさ調節)

昼に調節

点灯切替スイッチ



昼、夜の明るさに関係なく、いつでもセンサーの探知範囲に入ると点灯



センサーの探知範囲から人がいなくなると設定した時間後に消灯

人がいなくなると

消灯

夜に調節

点灯切替スイッチ



昼の明るい時は消灯



夜、暗くなってからセンサーの探知範囲に入ると点灯



センサーの探知範囲から人がいなくなると設定した時間後に消灯

人がいなくなると

消灯

※夜でも、他の照明の光で、周りが明るい時は、センサーは昼と認識する為、センサーは探知しません。点灯切替スイッチを“昼”に調節してください。

11. 状態表示LEDの動作について

ソーラー発電によるバッテリー(充電電池)の使用を優先し、バッテリー(充電電池)の残量が少なくなった場合、自動で乾電池使用に切り替わります。バッテリー(充電電池)がソーラー発電により電力を回復すると自動でバッテリー(充電電池)使用に復帰します。

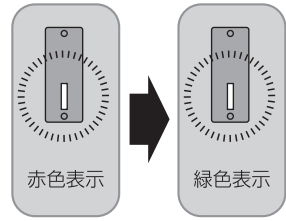
1. バッテリー(充電電池)での使用状態 赤色LEDで表示



待機中



センサー探知
点灯中



バッテリー(充電電池)の充電不足
乾電池使用に自動切換

2. 乾電池での使用状態 緑色LEDで表示



待機中



センサー探知
点灯中

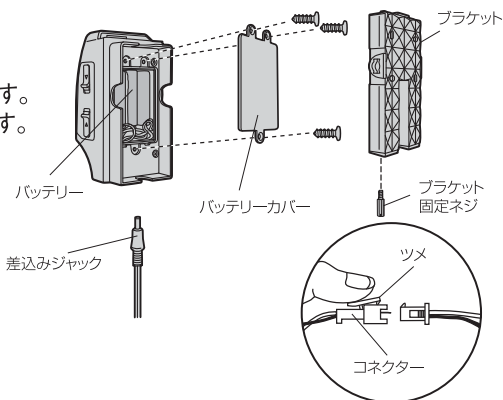


乾電池の消耗
又は乾電池無し

12. 部品交換について

バッテリーの交換

1. 本体のスイッチを“OFF”にします。
2. 差し込みジャックを本体から取外します。
3. ブラケット固定ネジを外し、ブラケットを外します。
4. 3本のネジを緩め、バッテリーカバーを開けます。
5. バッテリーを取り出し、コネクターのツメを押し、コネクタを外し、バッテリーを取外します。
6. バッテリーの取付けは、逆の要領で行ってください。



バッテリー(3.6V 1200mAh)のお買い求めについて

バッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文してください。尚、入手困難な場合は直接弊社にご注文いただければお送りいたします。

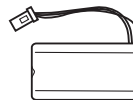
[品番 S-HB302]

替バッテリー

(ニッケル水素電池3.6V 1200mAh)

¥3,800

(消費税・送料込み)



※但し、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。

13. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。



シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、お使いにならないでください。



ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1～2回実施してください。中性洗剤、又は水をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。



ソーラーパネルとライト本体の取付けネジは、年に1～2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。



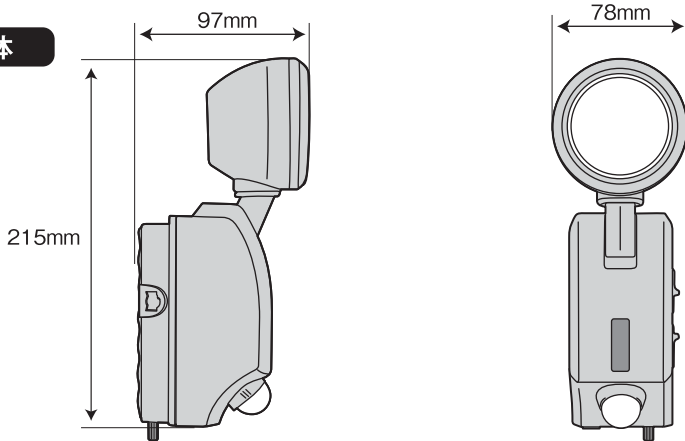
14.故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない	バッテリー(充電電池)の充電不足。 乾電池の寿命。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) スイッチをOFFにし、晴天日の約2日間で満充電にする。 新しい単三アルカリ乾電池に交換する。
	スイッチがOFFになっている。	スイッチを昼又は夜にする。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節する。(センサーを探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	蒸気や雨などの水滴がついている。 寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。 手袋をしている。外気温が35℃以上ある。	本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記のような状況では探知しにくい場合があります。
バッテリー(充電電池)で点灯しない	ソーラーパネルのジャックが本体から外れている。	ソーラーパネルのジャックを本体の差込口に差込む。
	ソーラーパネルのケーブルが傷んでいる(芯線の露出、断線など)。	使用を中止してください。 本体、ソーラーパネルの一式を当社宛てに修理としてお送りください。
乾電池で点灯しない	バッテリー(充電電池)が完全放電している。	バッテリー(充電電池)が完全放電している場合乾電池を入れても点灯しません。ソーラーパネルでバッテリー(充電電池)を充電してください。
	バッテリー(充電電池)が入っていない又はコネクタが抜けている。	バッテリー(充電電池)を入れコネクタを接続してください。
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯切替スイッチを 昼 にする。 または、他の照明器具の光が入らない場所に設置する。
消灯しない	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
昼なのに点灯する	点灯切替スイッチが 昼 になっている。	点灯切替スイッチを 夜 にする。
探知範囲に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある (例) ・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている。 ・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除く (左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する)
探知範囲に人がいるのに消灯する	時間切替スイッチが 5秒 になっている。	時間切替スイッチを 30秒 にする。
	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上探知できません。
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	センサー方向がずれている。	センサーを探知させたい方向に向ける。
	周囲の温度が30℃以上ある。	センサーの特性上短くなります。

現象	考えられる原因	処置
点灯回数が少なくなった (乾電池を入れていない場合)	バッテリー(充電電池)の充電不足。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる) スイッチをOFFにし、晴天日の2~3日で満充電にする。
	バッテリー(充電電池)の寿命。	本機のバッテリーは平均500回の充放電が可能です。 使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれて電池の容量は少しずつ低下します。満充電しても点灯回数が大幅に少なくなった場合は、寿命と思われますので、販売店に注文して新しいバッテリーに取替えてください。

15.サイズ

本体



ソーラーパネル

